

県立水海道第二高等学校【総合的な探究の時間計画】（令和8年度）

学校の教育目標

(1)豊かな人間性を培い、自律と協和の精神を育み、たくましい心身と優雅さを併せ持った生徒を育成する (2)伝統を継承しながらも柔軟に社会の変化に対応し、自らの将来を切り拓くことのできる生徒を育成する (3)普通科・商業科・家政科が切磋琢磨し合い、それぞれの特長を高めて社会に貢献できる生徒を育成する (4)家庭や地域社会等と連携を深め、協働して持続可能な共生社会の実現を目指そうとする生徒を育成する
--

総合的な探究の時間の評価

目標と育成する資質・能力	学習評価	配慮を必要とする生徒への支援方法
<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会で活躍できるための人間性や道徳心 将来、地域社会で活躍できるための知識や技能を身に付け、様々な局面でも臨機応変に対応できる能力 ・自己の将来に関わる問題についての問いを見出す能力 地域や現代社会の諸問題などの解決に向けて他人と協働し調査する力や発表する力 ・地域に貢献しようとする態度の育成 地域の方と地域が抱える問題点を共有し、よりよい地域社会実現にむけ社会に参画する積極性や人間力 	<ul style="list-style-type: none"> ・探究課題の結果だけではなく、過程をポートフォリオにより評価する。 ・できるだけ授業担当者会議を開催し、各グループの進捗状況を確認し、前回からの進歩を評価する。 ・プリントや話し合い活動の内容、レポート、記録用紙など全てファイルに綴じポートフォリオにすることにより、その生徒に応じた進歩を見逃さないよう注意する。生徒一人ひとりの毎時間ごとの振り返りを大事にする。 ・「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の3つをそれぞれ複数の項目に分け、評価を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ活動に消極的な生徒には声かけや役割をあたえるよう、グループの生徒へアドバイスをする。 ・探究テーマに沿って、クラスの枠を超えた活動ができる体制をとる。また、活動状況の遅れがちな生徒には個別に声かけをする。

各学年における主な取組内容

「総合的な探究の時間」を課題研究等で代替している場合の科目名

学年	主たる探究課題及び学習活動	外部との連携	育成を目指す生徒像
1年	「探究の基礎（ICTスキル）とグループ探究」 (1)動画教材の視聴・話し合い・調べ学習（内容を分析・理解する力、行動力、協調性） (2)課題の設定（問いを見いだす力、思考力、判断力、行動力） (3)情報収集（人間性、洞察力、観察力） (4)整理分析・表現（協働性、表現力、プレゼンテーション能力）	常総市	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に考え行動できる生徒 ・地域の人や関係機関などに積極的に関わりを持ち、問題意識を持ちつつ解決策を考えたり、様々な人の立場を考えたりすることができる生徒 ・現代社会の諸問題を知り、考察をするとともに、自己の将来像に結び付けることができる生徒
2年	「グループ探究」 (1)課題の設定（問いを見いだす力、思考力、判断力、行動力） (2)情報収集（洞察力、観察力、リーダーシップ、社会参画） (3)整理分析・課題の再設定（分析力、協調性、協働性） (4)表現（表現力、プレゼンテーション能力）	常総市 Joso Academy （戸田建設株式会社、TSUTAYA BOOKSTORE 常総インターチェンジ、石下プロジェクト）	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に考え行動できる生徒 ・地域の人や関係機関などに積極的に関わりを持ち、問題意識を持ちつつ解決策を考えたり、様々な人の立場を考えたりすることができる生徒 ・現代社会の諸問題を知り、考察をするとともに、自己の将来像に結び付けることができる生徒
3年	「個人探究・進路探究」 (1)課題の再設定（問いを見いだす力、思考力、判断力、行動力） (2)情報収集（洞察力、観察力、社会参画） (3)整理分析・課題の再設定（分析力、将来展望） (4)表現（表現力、プレゼンテーション能力）	常総市	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に考え行動できる生徒 ・地域の人や関係機関などに積極的に関わりを持ち、問題意識を持ちつつ解決策を考えたり、様々な人の立場を考えたりすることができる生徒 ・現代社会の諸問題を知り、考察をするとともに、自己の将来像に結び付けることができる生徒